

## 平成30年度 事業方針及び計画

### 1. 事業運営方針

- (1) 重点課題として、東京オリンピックを2年後に控えOSAKA2020夢プログラム事業目的の必達に向け指定競技者を厳選し資源を集中的に投じ、当会登録競技者から東京オリンピックに代表選手を輩出できるよう当会を上げて取り組むとともに、将来を見据えた当会の選手強化・組織の在り方に関する検討を行う。
- (2) 第8回大阪マラソン大会、第86回大阪陸上競技選手権大会などを主催、IAAFワールドチャレンジ・ゴールドングランプリ陸上2018大阪を主管し国際化を進めるとともに普及活動並びに競技基盤の強化を図る。更に日本グランプリ第5回木南道孝記念陸上競技大会を開催し国際的な競技力の向上の一翼を担う。
- (3) 第38回大阪国際女子マラソン大会の主管、内外主要競技会への役員・選手派遣、各種陸上競技会に対する審判員派遣など、陸上競技の普及と発展を図る。
- (4) 公益財団法人日本陸上競技連盟、近畿陸上競技協会、公益財団法人大阪体育協会等の関係機関に対して役員を送るとともに、大阪高体連陸上競技専門部などの各協力団体と密接に連携し、大会運営技能・審判技術向上、陸上競技の普及、選手の育成を図る。

### 2. 事業計画

#### (1) 選手強化育成事業等

国際的に活躍できる選手を育成するため競技力の向上を図る。関係機関・諸団体の協力のもと「OSAKA夢プログラム」事業を着実に推進し大阪市トップアスリート育成事業と連携しつつ東京オリンピックに向けた選手強化を図る。IAAFワールドチャレンジ・ゴールドングランプリ陸上2018大阪を主管するとともに、日本グランプリシリーズ第5回木南道孝記念陸上競技大会の国際化を進める。

陸上競技の普及、選手の強化を図るための各種競技会、強化練習会等を実施し、3年目迎える第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の主管をはじめ本事業年度に実施する競技会等は、次のとおりとする。

平成30年度 大阪陸上競技協会が関係する競技会(別紙)

平成30年度 競技会 日程・行事予定(別紙)

#### (2) 情報化の推進

競技会申込のWEBサイト利用など情報化を推進するとともに、競技会における先端技術の活用等を促進していく。

#### (3) 普及育成事業

世界的に活躍できる競技者を発掘、育成していくため、日本陸連及び各協力団体との連携を深め、選手の育成、強化や指導者の育成に取り組んでいく。

#### (4) 財政・組織強化

当協会の取り巻く環境が変化する中、財務体質の強化を図り選手強化及び陸上競技の普及を持続的且つ強力に推進していくため、中期事業計画を策定する。